



複数電話システム連動ガイド for Cisco Unity Connection Release 8.x

Multiple Phone System Integration Guide for Cisco Unity Connection
Release 8.x

OL-20350-01-J

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップ
デートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合があ
りますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サ
イトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊
社担当者にご確認ください。

このマニュアルでは、複数の電話システムを Cisco Unity Connection と連動させる方法、Cisco Unity Connection と連動している電話システムを削除する方法、および Cisco Unity Connection と連動している特定の電話システムを別の電話システムに置き換える方法について説明します。

Cisco Unity Connection が Cisco Unified Communications Manager Business Edition として Cisco Unified Communications Manager と同じサーバにインストールされている場合、複数の連動はサポートされません。Cisco Unified CMBE 設定では、Cisco Unity Connection は Skinny Call Control Protocol (SCCP) を使用した Cisco Unified CM とだけ連動できます。



連動のタスク

Cisco Unity Connection を複数の電話システムと連動させる次のタスクを実行する前に、Cisco Unity Connection が対応する『*Installation Guide for Cisco Unity Connection Release 8.x*』の該当タスクを完了して、追加の連動準備ができていることを確認します。

次のタスクのリストでは、連動の作成、削除、置き換えのプロセスについて説明します。

複数の電話システム連動を作成するタスク リスト

次のタスク リストを使用して、複数の電話システムを Cisco Unity Connection と連動させます。

1. システムおよび装置の要件を確認し、すべての電話システムおよび Cisco Unity Connection サーバが要件を満たしていることを確認します。「要件」(P.3) を参照してください。
2. 電話システムの組み合わせが Cisco Unity Connection の複数の電話システムの連動でサポートされていることを確認します。「複数の電話システム連動の組み合わせの制限」(P.3) を参照してください。
3. 連動を作成します。「複数電話システム連動の作成」(P.4) を参照してください。



(注) また、新しい電話システム、電話システムの新しいポート グループ、ポート グループの新しいポートを作成して、さらに Cisco Unified CM クラスタを Cisco Unity Connection の管理に追加することもできます。各 Cisco Unified CM クラスタは個別の電話システム連動です。

4. 残りの各電話システムに対して、タスク 1. ～タスク 3. を繰り返します。

既存の電話システム連動を削除するタスク リスト

次のタスク リストを使用して、Cisco Unity Connection と連動している電話システムを削除します (たとえば、2 つの電話システムとの連動から 1 つの電話システムとの連動へ変更)。

1. 削除する電話システムをホームとするユーザを別の電話システムへ再度割り当てます。あるいは、これらのユーザを削除します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection Release 8.x*』を参照してください。このドキュメントは、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/user_mac/guide/8xcucmacx.html から入手可能です。



注意 ユーザを新しい電話システムに再度割り当てたら、古い電話システムを削除する前に、ユーザの内線番号を新しい電話システムで使用する内線番号に変更することを推奨します。そうしないと、ユーザがボイス メッセージにアクセスできなくなります。

2. 電話システムの連動を削除します。「既存の電話システム連動の削除」(P.4) を参照してください。

既存の電話システムを新しい電話システムに置き換えるタスク リスト

次のタスク リストを使用して、Cisco Unity Connection と連動している電話システムを削除します (たとえば、2 つの電話システムとの連動から 1 つの電話システムとの連動へ変更)。

1. システムおよび装置の要件を確認し、すべての電話システムおよび Cisco Unity Connection サーバが要件を満たしていることを確認します。「要件」(P.3) を参照してください。
2. 電話システムの組み合わせが Cisco Unity Connection の複数の電話システムの連動でサポートされていることを確認します。「複数の電話システム連動の組み合わせの制限」(P.3) を参照してください。
3. 新しい電話システムの連動を作成します。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html で該当する Cisco Unity Connection 連動ガイドを参照してください。
4. 削除した電話システム連動をホームとするユーザを新しい電話システムへ再度割り当てます。『*User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection Release 8.x*』を参照してください。このドキュメントは、
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/user_mac/guide/8xcucmacx.html から入手可能です。



注意

ユーザを新しい電話システムに再度割り当てたら、古い電話システムを削除する前に、ユーザの内線番号を新しい電話システムで使用する内線番号に変更することを推奨します。そうしないと、ユーザがボイス メッセージにアクセスできなくなります。

5. 既存の連動を削除します。「既存の電話システム連動の削除」(P.4) を参照してください。

要件

複数の電話システムと連動させる場合、Cisco Unity Connection には次の要件があります。

- すべての電話システムと Cisco Unity Connection サーバの要件を満たしていること。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html で該当する Cisco Unity Connection 連動ガイド を参照してください。
- Cisco Unity Connection サーバに、電話システムと接続するための十分な数のボイス メッセージ ポートがあること。ポート数は Cisco Unity Connection のライセンス ファイルで有効にされているポート数を超えないようにしてください。
- Cisco Unity Connection が Cisco Unified CM とは別のサーバにインストールされていること。
Cisco Unity Connection が Cisco Unified CMBE として Cisco Unified CM と同じサーバにインストールされている場合、複数の連動はサポートされません。

複数の電話システム連動の組み合わせの制限

Cisco Unity Connection 8.x では、組み合わせの制限はありません。Cisco Unity Connection は複数の同時電話システム連動をサポートしています。これは、ライセンスのあるボイス メッセージ ポートの数だけに制限されます。

たとえば、Cisco Unity Connection は次の電話システムと一度に連動することができます (合計 28 の電話システムと連動可能)。

- PIMG/TIMG 装置を使用した 7 つの回線交換電話システム
- Skinny Call Control Protocol (SCCP) を使用した 7 つの Cisco Unified CM 電話システム
- Cisco ISR ボイス ゲートウェイを使用した 7 つの QSIG 対応の電話システム
- SIP トランクを使用した 7 つの Cisco Unified CM 電話システム

複数電話システム連動の作成

Cisco Unity Connection サーバおよび電話システムが連動を行う準備ができていることを確認したら、次の手順を実行します。

複数電話システム連動を作成する

-
- ステップ 1** 1 つの電話システムを Cisco Unity Connection と連動させます。
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html
 で該当する Cisco Unity Connection 連動ガイドを参照してください。
 電話システムは、任意の順序で Cisco Unity Connection と連動させることができます。
- ステップ 2** 残りの電話システムに対して、**ステップ 1** を繰り返します。
- ステップ 3** 新しいユーザが目的の電話システムに割り当てられるように、新しい電話システムに割り当てる適切な新しいユーザ テンプレートを追加します。
 新しいユーザ テンプレートの追加、または新しいユーザを追加する場合に選択するユーザ テンプレートの詳細については、『*User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection Release 8.x*』の「Adding, Modifying, or Deleting a User Template in Cisco Unity Connection 8.x」および「Preparing to Add User Accounts in Cisco Unity Connection 8.x」の章を参照してください。このガイドは、
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/user_mac/guide/8xcucmacx.html から入手可能です。
-

既存の電話システム連動の削除

既存の電話システム連動を削除するには（たとえば、当初は Cisco Unity Connection に連動していた電話システムを置き換えた場合）、次の項目が削除されているか、または別の電話システムに関連付けられていることを確認します。

- 削除する電話システムに関連付けられているユーザ（MWI デバイスおよび通知デバイスを含む）。
 Cisco Unity Connection の管理の電話システムに関連付けられているユーザの一覧を表示するには、[テレフォニー (Telephony Integrations)] > [電話システム (Phone System)] を展開して電話システムの名前を選択し、[電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページの [編集 (Edit)] メニューから [電話システムに関連付け (Phone System Associations)] を選択します。
- 削除する電話システムに関連付けられているユーザ テンプレート。
- 削除する電話システムに関連付けられているシステム コール ハンドラ。
- 削除する電話システムに関連付けられているコール ハンドラ テンプレート。

ユーザ、ユーザ テンプレート、コール ハンドラ、MWI デバイス、または通知デバイスがこの電話システムに関連付けられている場合、Cisco Unity Connection は電話システムを削除できません。

これらの項目が関連付けられている電話システムを削除しようとする、電話システムの削除ウィザードへのリンクと一緒に警告が表示されます。このウィザードでは、削除する電話システムから別の電話システムにすべての項目を関連付け直す方法が示されます。

電話システムに関連付けられているすべてのユーザ、ユーザ テンプレート、コールハンドラ、MWI デバイス、および通知デバイスは、電話システムが削除される前に再度割り当てられる必要があります。



(注) 電話システムの [電話システムの関連付け (Phone System Associations)] ページにある電話システムに関連付けられているユーザの一覧を表示できます。[電話システムの関連付け (Phone System Associations)] ページを表示するには、[電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページの [編集 (Edit)] メニューから [電話システムの関連付け (Phone System Associations)] を選択します。

電話システム連動を削除する前に、電話システムに属するポート グループまたはポートを削除する必要はありません。メンバー ポート グループまたはポートは電話システムと一緒に自動的に削除されます。



(注) 電話システムに属さないポート グループやポートは、電話システム連動が削除されても影響を受けません。

次の手順を実行します。

既存の電話システム連動を削除する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理にログインします。
- ステップ 2** Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] を選択します。
- ステップ 3** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、削除する電話システムの左のチェックボックスをオンにします。
- ステップ 4** [選択項目の削除 (Delete Selected)] を選択します。
- ステップ 5** 電話システムの削除を確認するプロンプトが表示されたら、[OK] を選択します。
- ステップ 6** Cisco Unity Connection の管理からサインアウトします。

付録：資料および技術サポート

表記法

『複数電話システム連動ガイド for Cisco Unity Connection Release 8.x』では、次の表記法を使用します。

表 1 『複数電話システム連動ガイド for Cisco Unity Connection Release 8.x』の表記法

表記法	説明
太字	次の場合は太字を使用します。 <ul style="list-style-type: none"> キー名 ユーザが入力する情報（例：[ユーザ名 (User Name)] ボックスに Administrator と入力します）。
<> (山カッコ)	ユーザが入力するパラメータを囲むために使用します（例：コマンドプロンプト ウィンドウで ping <IP アドレス> と入力します）。
- (ハイフン)	同時に押す必要があるキーを表します（例：Ctrl-Alt-Delete を押します）。
> (右向きの山カッコ)	選択する順序を表す場合に使用されます。 <ul style="list-style-type: none"> メニュー上（例：Windows の [スタート (Start)] メニューから [プログラム (Programs)] > [Cisco Unified Serviceability] > [Real-Time Monitoring Tool] を選択）。 Cisco Unity Connection の管理のナビゲーションバー内（例：Cisco Unity Connection の管理で、[システム設定 (System Settings)] > [詳細設定 (Advanced)] を展開）。
[x] (角カッコ)	角カッコの中の要素は、省略可能です（キーワードや引数）（例：[reg-e164]）。
[x y] (縦棒)	いずれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードや引数は、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています（例：[transport tcp transport udp]）。
{x y} (波カッコ)	必ずいずれか 1 つを選択しなければならない必須キーワードや引数は、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています（例：{tcp udp}）。

『複数電話システム連動ガイド for Cisco Unity Connection Release 8.x』では、次の表記法も使用します。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

Cisco Unity Connection のマニュアル

Cisco.com 上の Cisco Unity Connection に関するドキュメントの説明と URL については、『*Documentation Guide for Cisco Unity Connection*』を参照してください。このドキュメントは Cisco Unity Connection に同梱されていますが、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_documentation_roadmaps_list.html から入手することもできます。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

シスコ製品のセキュリティ

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、次の URL で参照できます。

http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html

CCDE, CCENT, CCSI, Cisco Eos, Cisco HealthPresence, Cisco IronPort, the Cisco logo, Cisco Nurse Connect, Cisco Pulse, Cisco SensorBase, Cisco StackPower, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco Unified Computing System, Cisco WebEx, DCE, Flip Channels, Flip for Good, Flip Mino, Flipshare (Design), Flip Ultra, Flip Video, Flip Video (Design), Instant Broadband, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, Cisco Capital, Cisco Capital (Design), Cisco:Financed (Stylized), Cisco Store, Flip Gift Card, and One Million Acts of Green are service marks; and Access Registrar, Aironet, AllTouch, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, Continuum, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Explorer, Follow Me Browsing, GainMaker, iLynx, IOS, iPhone, IronPort, the IronPort logo, Laser Link, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, PCNow, PIX, PowerKEY, PowerPanels, PowerTV, PowerTV (Design), PowerVu, Prisma, ProConnect, ROSA, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0910R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2010 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2010, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.

